

## 事務事業評価表（一般事業）

評価対象年度	令和 元 年度
1次評価日（主幹等）	2年3月24日
2次評価日（課長等）	2年3月31日

1 事業名	環境保全推進事業	コード	11101
-------	----------	-----	-------

2 担当部課	部等	市民環境部	課等	市民環境課	作成者	小口 智徳
--------	----	-------	----	-------	-----	-------

3 事業概要	目的体系	基本目標	安全・安心で、自然環境と共生するまち		
		政 策	環境保全の推進	施 策	自然環境の保全
		予算科目	環境保全推進事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	岡谷市の望ましい環境像「あふれる緑と清らかな水につつまれたまち」の実現のため、環境保全を推進するための施策を展開する。		
目的	対象者	市民	
	意 図	岡谷市の恵まれた豊かな自然を将来にわたって育てていく。	

5 事業の実施内容	*元年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
○環境基本計画の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>第3次岡谷市環境基本計画を推進するため、環境基本計画における重点目標や事業者、市民、行政が行うことなど具体的な取組を広報おかやに掲載し、啓発を行った。また、小中学校の授業で環境問題に関する内容を語るなど、子供たちに対する啓発も行った。</li> <li>太陽熱、地中熱の利用設備設置に対する補助と、雨水貯留施設の設置に対する補助を実施した。</li> <li>環境保全（緑のカーテン事業、市内一斉気温測定、我が家の省エネ自慢等の推進を図った。</li> <li>11月17日（日）に、ララおかや及びテクノプラザにおいて、44団体、2,000人の参加を得て、エコフェスティバル2019を開催した。今回は、長野県の主催によるSDGs漫才をエコフェスティバルで実施するなど、様々な形で環境に関する関心を高める工夫を行った。</li> </ul>		
前年度の課題への対応	・再生可能エネルギーを取り扱う業者等に対し、岡谷市の補助制度を説明。顧客への周知を依頼すると共に、岡谷エコフェスティバルに出展していただき、参加者にPRをしていただいた。		

6 指標の達成状況	*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度				
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	環境基本計画推進のための新聞・広報おかや掲載回数			単位	回
実績値	12	12	7		
*指標の説明	毎月（12ヶ月）				
② 成果指標（指標名）	環境基本計画推進のための新聞・広報おかや掲載回数			単位	回
目標値	12	12	12	6	
実績値	12	12	7		
達成度	100.0%	100.0%	58.3%		
*指標の説明	平成30年度までは、広報おかやに環境基本計画のコーナーを毎月設けてきたが、枠が確保できなくなったため、令和2年度より目標値を変更する				
*目標値の設定方法の説明	広報おかやへ掲載し情報提供した回数				

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
① 直接事業費	3,103,002	3,658,412	3,593,534	2,915,000
経常経費	2,147,125	2,135,166	2,187,725	2,411,000
臨時的経費	955,877	1,523,246	1,405,809	504,000
* 臨時的経費の説明				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
② 人件費	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000
正規職員の人数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00
③ 合計コスト(①+②)	11,103,002	11,658,412	11,593,534	10,915,000
前年度比		105.0%	99.4%	94.1%
財源	11,103,002	10,958,412	11,593,534	10,915,000
一般財源				
内訳		700,000		
特定財源				
* 特定財源の説明	H30：シンポジウム助成事業助成金			
④ 活動一単位あたりコスト	845,594	844,597	1,455,389	
前年度比		99.9%	172.3%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		29年度	30年度	元年度	2年度(予算)
水資源保全全国自治体連絡協議会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	10,000	20,000	20,000	20,000
長野県環境保全協会負担金	件数	1	1	1	1
	金額	30,000	30,000	30,000	30,000
環境市民会議おかや	件数	1	1	1	1
	金額	110,000	110,000	110,000	110,000
再生可能エネルギー活用補助金	件数	8	5	2	0
	金額	787,000	658,000	315,000	0
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	937,000	818,000	475,000	160,000
	割合	30.20%	22.36%	13.22%	5.49%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性＝成果指標（項目7／住民の満足度）は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値 前年度比 58.3%	0
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値 達成度 58.3%	0

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	<p>(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再生可能エネルギー活用補助金終了後の再生可能エネルギー利用促進に向けた、啓発活動</li> <li>水資源保全に向けた対応協議</li> </ul>
改善方法	<p>(上記の課題をふまえて2年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地球温暖化防止啓発事業の推進。</li> <li>今後の市内の状況を把握。</li> <li>市民・企業に向けた周知を行う</li> <li>岡谷市が有する水資源の全体量等が把握できていないことから、ガイドライン等の策定に先立ち、調査を行う必要がある。併せて、今後の水資源保全に向けた関係課との調整が必要。</li> </ul>
改善開始時期	令和2年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による2年度の優先度 *H30年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	--	---